

河川堤防の強化に関する技術検討会(第2回)

議事要旨

日時:令和5年3月1日(水曜日) 16:00~18:00

場所:国土交通省水管理・国土保全局A会議室

【公募要領(案)】

- 「2.公募技術」について、「国土技術政策総合研究所等の技術資料(案)」に沿った方法で構造検討が可能な工法は技術提案を求めない」と記載があるが、この表現では「当該工法が応募対象である」と誤解を与えるため、表現を修正すること。(山田委員、清水委員、戸田委員)

【技術資料(案)】

- 「5.4 吸出し防止材+コンクリートブロック+覆土」の法留工の構造検討について、滑動や転倒に関する詳しい記載はあるが、浸透の影響や支持力に関する記載がないので、構造検討の考え方をより丁寧に記載すること。(岡村委員)

【評価の基本的な考え方】

- 「様式3-2(自立型)のなじみの確認方法」について、「レインの加重クリープ比を用いて確認」と記載があるが、これはあくまで過去の実績に基づき例示したものであり、必須事項ではないことで了解した。(前田委員)
- 評価完了後の話になるが、応募技術の評価を通じて得られた知見や課題を、個別の応募者だけでなく全体に共有し、新たな工法の提案に繋げていく仕組みが重要である。「評価階層」の通知とあわせて応募技術の課題点等を共有するようだが、これは非常に価値のある情報である。論文リスト等も、知見の集積にあわせて更新して全体に共有すること。(山田委員、藤田委員)

【越水に対する性能を確認する実験等】

- 縮尺実験では、ブロック形状や吸出し防止材等の被覆材は縮尺しないことについて了解した。(清水委員)
- 国総研の表面被覆型の実験では、実験前後の堤防形状の変状について、堤体土の露出や吸出しがなかったことを、測量等により定量的に確認することで、越水に対する性能を有していると判断しているということである。(清水委員)

【公募に関する相談窓口】

- 応募技術に関する疑問に対応頂ける窓口を設けること。(山田委員)

以上